

平成30年度 教育調査の結果より

昨年12月に実施いたしました、杉並区教育調査へのご協力、誠にありがとうございました。集計結果がまとまりましたので、お知らせいたします。大きな増減が見られた内容や、数値の低い内容については、今年度の成果と課題であると考え、要因や改善策等について、今後しっかり検証してまいります。

(1) 保護者対象の調査結果より

昨年度に比べ、5割以上の増減が見られた項目は1項目のみで、全体的に昨年度同様の結果となりました。まず、「学校生活全般」については、82.8%と学園の教育活動に一定の評価をいただけたものと考えております。また、まだまだ数値としては低いものの、「特色ある教育活動」や「小中一貫教育の推進」についての数値に伸びが見られたことは、学園としては大きな成果であると考えます。しかし、小中一貫教育への「理解・効果・期待」についてはまだまだ数値が低く、さらなる取組の工夫や情報の発信が必要であると考えております。

- 特色ある教育活動 (△5.8 割 53.8%)
- 小中一貫教育の推進 (△4.2 割 72.3%)
- 小中一貫育学への理解 (△3.8 割 55.5%)
- 小中一貫教育の効果 (△3.0 割 37.6%)
- 小中一貫教育への期待 (±0 割 55.7%)
- 生活指導体制 (△0.7 割 39.7%)
- 特別支援教育への理解・啓発 (△0.5 割 46.3%)
- 学園への意見・要望 (▼0.9 割 41.0%)

昨年度同様に数値が低かったのが、「生活指導体制」「特別支援教育への理解・啓発」「学園への意見・要望」の各項目でした。保護者の皆様には見えにくい部分ではありますが、学園では、いじめの未然防止の取組や発生時の対応等、「いじめ防止基本方針」(学園HPにてご覧いただけます)に則って組織的な対応を行っております。特別支援教育への理解・啓発につきましては、次年度より中学部でも特別支援教室が始まりますし、本学園は特別支援学級の設置校ですから、特別支援教育コーディネーターを中心に、インクルーシブ教育をさらに推進していく必要があります。また、学園への意見・要望に関しては、学校運営協議会やPTAとの連携をさらに強化し、協議会や各委員会等の場に保護者の皆様の声の届くような仕組みづくりや、教育課程の改善にどのようにつながったのかという発信の仕方などを、工夫していく必要があります。

(2) 児童・生徒対象の調査より

全体的に、昨年度と比較して上昇傾向が見られました。中でも、昨年度の大きな課題であった小中一貫教育の効果に関わる項目に大きな伸びが見られたことは、今年度の教育活動の大きな成果であると考えます。この1年間、学園では主幹教諭を中心とした小中一貫教育推進委員会を立ち上げ、より互惠性のある交流活動の実施や、学びの系統性・指導の連続性を意識した教科指導の研究の推進に努めてまいりました。交流学习の成果が数値として表れたものと考えます。同じく昨年度の課題であった特別支援教育の項目が伸びていることも同様の成果であると思いますので、今後もさらなる取組の精査・工夫・改善を重ねてまいります。

- 小中一貫教育 (児童・生徒の相互意識：△15.0 割 56.3% / 交流の大切さ：△6.2 割 59.8%)
- 特別活動 (△6.1 割 70.5%)
- 特別支援教育：交流 (△8.0 割 64.1%)
- 発表意欲 (△0.4 割 44.8%)
- 個に応じた指導 (△2.9 割 52.8%)
- 教育相談体制 (▼5.3 割 67.6%)
- 学園生活 (▼4.1 割 68.3%)

個に応じた指導や発表意欲については、昨年度に引き続き、課題となりました。習熟度別指導のさらなる拡充、主体的・対話的な授業展開の工夫など、今後とも授業改善に努めてまいります。また、教育相談体制や学園生活の数値が下がってしまったことについては、重く受け止めております。一人一人の児童・生徒が安心して楽しく学ぶことのできる学園を目指して、児童・生徒相互のかかわり合いや学び合いを充実させてまいります。家庭学習については、学年・学級による差が目立ちます。今年度、小学部では学年ごとにお便りを配布し家庭学習の充実をお願いしました。今後も各ご家庭と連携しながら児童・生徒に家庭学習習慣を付けさせ、授業改善と併せて学力の向上を図ってまいりたいと思います。

(3) 教員対象の調査より

伸びが見られたのは、小中交流に関する項目や小中教員の連携・協働に関する項目です。これは(1)(2)でも述べた交流活動や研究の成果であると言えます。しかし一方で、連携や協働が児童・生徒の学びの成果につながっていない、と感じている教員が多いことも明らかになりました。

- 異校種・異学年交流 (△10.2 割 93.5%)
- 小中合同行事・交流活動 (△10.2 割 93.5%)
- 教員間的小・中連携 (△6.4 割 82.6%)
- 小中の協働 (△4.5 割 78.3%)
- 小中一貫した学習指導 (▼11.6 割 71.7%)
- 系統的・連続的指導 (▼14.0 割 71.7%)
- 小・中学校の協力的指導 (▼16.4 割 71.7%)

今年度は、研究を通じて昨年度以上に小中教員が協働して授業実践を積み重ねてきました。一見矛盾するこれらの結果は、研究が深まるにつれ、指導の在り方や方法の改善を図ることで、さらなる学びの成果が期待できることが明らかになってきたためと考えられます。引き続き、工夫・改善を加えながらより効果的な実践を積み重ね、児童・生徒の学力向上につなげてまいります。

平成30年度 教育調査結果まとめ【保護者】

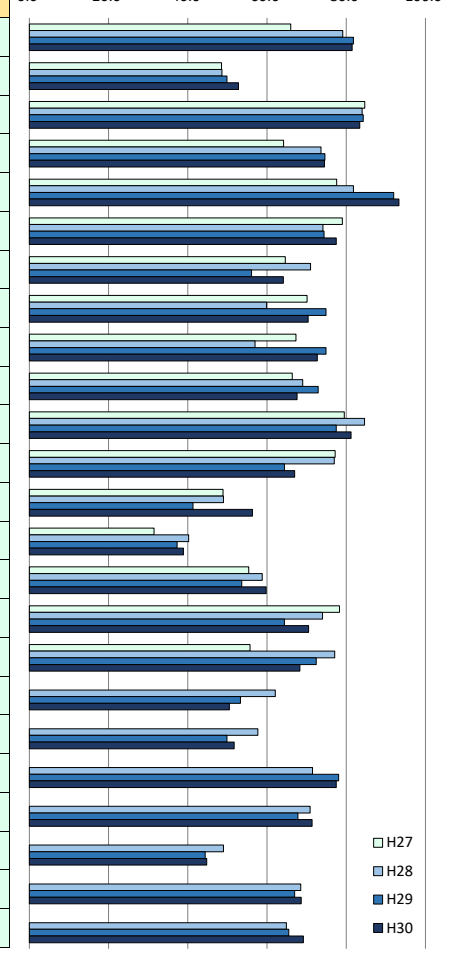
平成30年12月実施：N=851, 回収率 96.3%



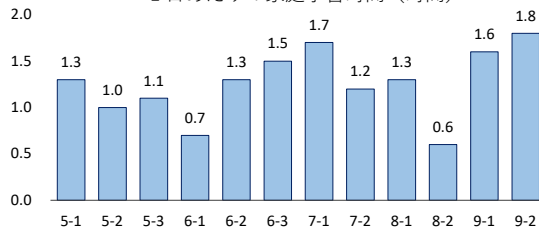
平成30年度 教育調査結果まとめ【児童・生徒】

平成30年12月実施：N=373, 回収率 96.9%

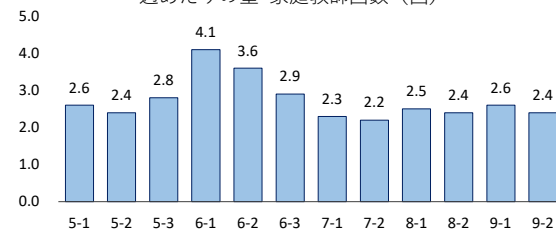
項目	観点	設問内容	肯定率(%) 経年変化				0.0	20.0	40.0	60.0	80.0	100.0
			H27	H28	H29	H30						
学級経営		先生は、クラスみんなが分かり合い、協力し合えるようにしてくれている。	66.0	79.1	81.8	81.5						
学習指導	個に応じた指導	授業では、自分の得意なところを伸ばしたり、苦手なところを少なくしたりできるように、個別に教えてくれている。	48.5	48.6	49.9	52.8						
	主体的・対話的で深い学び／学習成果の実感	学校の授業によって、分かることやできることが増えている。	84.7	84.0	84.3	83.4						
	学習評価	先生は、授業で自分ができたことを誉めてくれたり、間違えたところを教えてくれたりしている。	64.2	73.6	74.6	74.5						
	ICTの利活用	先生は、授業において電子黒板やデジタル教科書を活用している。	77.6	81.8	92.0	93.3						
	系統的・連続的指導	先生は、今の授業で学習していることが、前の授業や今後の授業とどのようにつながっているか、教えてくれている。	79.0	74.1	74.4	77.5						
特別支援教育	交流及び共同学習	特別支援学級や校外の障害のある同じ年くらいの子ともと交流する機会がある。	64.6	71.0	56.1	64.1						
道徳教育		道徳の時間では、友達や家族、地域の人たちと共によりよく生きることの大切さについて、みんなで話し合っている。	70.1	59.9	74.9	70.4						
体育・健康教育		先生は、健康な生活を送るために必要なことを教えてくれている。	67.3	57.0	74.9	72.7						
教育相談	教育相談体制	友達や先生、家族のことで悩んだとき、学校に、相談できる大人（先生、SC、SSW、地域の人など）がいる。	66.4	69.0	72.9	67.6						
学校安全	学校安全計画／危機管理体制	学校では、地震や火事など、様々な危険を予測し、避けるための知識や考え方について学んでいる。	79.5	84.6	77.5	81.2						
地域と共に在る学校		先生は、地域の人たちと協力しながら、授業や学校行事をよりよくしてくれている。	77.2	77.0	64.4	67.0						
小中一貫教育校		中学部生徒(小学部児童)と日常的に接することで、上級生に対する憧れの気持ち(下級生の手本になろうとする気持ち)が強まった。	48.9	49.0	41.3	56.3						
小中一貫教育校		小(中)学部の先生だけでなく、中(小)学部の先生から話しかけられることがある。	31.5	40.2	37.3	38.9						
学校独自	小中一貫	中学部と小学部と一緒に活動することは大切だと思う。	55.4	58.8	53.6	59.8						
	特別活動	先生は、学級活動や生徒会活動、学校行事に進んで取り組めるように指導してくれる。	78.3	74.0	64.4	70.5						
	学園生活	学園生活が楽しいと思う。	55.7	77.1	72.4	68.3						
	教師への信頼	気軽に相談できる先生がいる。		62.1	53.3	50.5						
	規範意識	五カ条を意識して行動している。		57.7	49.9	51.7						
	挨拶(学園)	学園では自分から挨拶をしている。		71.5	78.1	77.5						
	挨拶(地域)	近所の知っている人に自分から挨拶をしている。		70.9	67.8	71.4						
	発表意欲	授業中、自分の考えを自ら進んで発表している。		49.0	44.4	44.8						
	話の聞き方	授業中、他の人が発表している時、自分の考えや気持ちとくらべながら聞いている。		68.5	67.0	68.6						
	家庭学習習慣	毎日家庭学習に取り組んでいる。		64.9	65.5	69.2						
	家庭学習時間	家庭学習の時間は1日平均で何分くらいですか。(塾などの時間は含みません)										
	塾・家庭教師	(塾に行っている人や家庭教師に習っている人は)塾や家庭教師等の学習時間は週何回で合計何分くらいですか。										



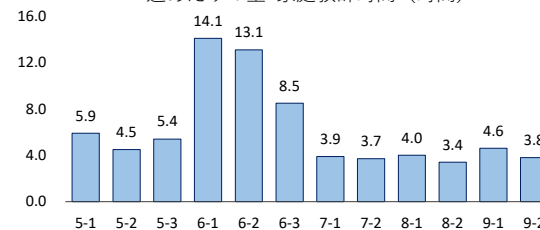
1日あたりの家庭学習時間(時間)



週あたりの塾・家庭教師回数(回)



週あたりの塾・家庭教師時間(時間)



平成30年度 教育調査結果まとめ【教員】

平成30年12月実施：N=46, 回収率 100%

